

病院経営統計論	菱 沼 従 尹
病院経営の特異形態	鹿 毛 俊 吾
病院と管理(そのII)	吉 田 幸 雄
座談会「蛇の穴」を見る	村松常雄, 吉田幸雄, 守屋博, 三浦貞, 長谷川泉
医療管理者テスト	尾 村 偉 久

医療器械規格制定	笹 本 正 二 郎
病院の日	
病院人事消息	
管理者メモ	
米国に関する資料	
編集後記	

編 集 後 記

「病院」も発刊以来各方面の御協力、御支援によつて満1年を迎えようとしています。次号第3巻第1号はその意味で増頁の特集号にいたしたいと思っております。

ちょうど殆んど同時に発足した厚生省の「病院管理研修所」も満1年の歩みを進め期せずして一周年記念をむかえております。研修所では現在も長期講習が行われておりますが、いままでにこゝで病院管理の基本となる重要問題についてマスターして地方に帰つた者の数は数百名に上り、それが地方での中心となつて放射状の新知識、新理論が日本の病院の向上に資していることを思うと、僅か1年間の成果であつたとはいえ、大きな足跡を残したものと云えます。

雑誌「病院」もようやく軌道に乗つて自らの歩みを進めることが出来るようになりました。ここまで到達するには厚生省を始め、病院管理研修所の強力な御支持があつたことを銘記しなければならず、こゝで編集面においても劃期的な飛躍をとげようと期しております。

次号は研修所の1カ年の足跡をはじめ、病院管理についてのこの1年間の理論的水準の向上及びその具体的な成果についての総決算としての検討を行うほか、特に病院建築問題に関する権威者による特集を計画しております。御期待下さい。

表紙に示してある病院管理の各部門の図式的説明についても解説を加えようと思います。

そのほか「病院」1年間の歩みについての御批判や御意見があつたらどしどし、お寄せ下さい。「病院」の窓はあかるく各方面に開放されております。どしどし御投稿を御願い申し上げます。

各地方に病院協会結成の動きが見られるようですが、このようなニュースについてもどしどし編集部あてに御報知下されば幸甚に存じます。

本号の巻末には第2巻の総目次を上げました。創刊号を除いてはバック・ナンバーの残部が少数ですが御座いますから御希望の向は至急御申込下さい。

本年度の「病院」はおよそ病院管理に関する根本的な問題にふれる事柄は表面極めてさ細なケースでもとりあげ、そのような具体的な問題に即してその根底にひそむ問題性を徹底的に検討してゆき度いと思っております。そのような具体的な問題の1つ1つを解決してゆくことによつて病院管理の後進国日本の具体的な水準向上に資し度いと思います。御支援を御願ひいたします。

(編者)

患者へのサービス—それが病院の最大にして最終の目標である。